

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習 I		
担当者(Instructors)	橋 廣	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「教育と発達に関する現代的課題の心理学的検討」を主なテーマとし、教育現場の課題、言語・運動機能・社会性の発達、スマホ依存等、各自の関心の強い事柄について内容を深く追求していくことを目的とする。情報を収集し、そのうち最も関心のあるテーマに研究を絞り込んでいく。このようなテーマ絞り込みのためのさまざまな情報収集からまとめに向けての方法を修得する。なお演習は、週によって対面授業とオンライン授業を使い分けて実施する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の内容に応じて、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションを取り入れて行う。5回程度オンライン授業を実施する予定である。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、自己PR	演習の目標や全体の流れを理解する。自己PRを行い自己表現のポイントを理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	教育心理学の現代的課題	文献検索の方法を学び、教育心理学の現代的課題を調べる。	<input type="checkbox"/>
第3回	発達心理学の現代的課題	文献検索の方法を学び、発達心理学の現代的課題を調べる。	<input type="checkbox"/>
第4回	脳（特に前頭前野）の発達を促す教育と遊び	高次な思考活動や不適切な行動の抑制に関わる前頭前野の発達を促す教育や遊びは何かを調べ、その遊びを体験する。	<input type="checkbox"/>
第5回	前頭前野を活性化させる組立て玩具	前頭前野の活性化が認められている組立て玩具を体験する。	<input type="checkbox"/>
第6回	フィールドワークの準備	フィールドワークについて内容を定める。	<input type="checkbox"/>
第7回	フィールドワークの実施	フィールドワークを実施する。	<input type="checkbox"/>
第8回	フィールドワークの振り返り	フィールドワークについての振り返りを行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	性格検査と自己理解（1）	採用試験の適性検査としてよく用いられる性格検査を実施する。	<input type="checkbox"/>
第10回	性格検査と自己理解（2）	前回実施した性格検査を分析し、自己理解に役立てる。	<input type="checkbox"/>
第11回	社会人基礎力、採用試験対策	社会人基礎力、自分の強み、採用試験対策を考える。	<input type="checkbox"/>
第12回	問題意識と研究テーマ	問題意識の明確化、研究テーマの絞り込み、研究テーマの決定を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	先行研究のまとめ	研究テーマに関わる先行研究を調べまとめる。	<input type="checkbox"/>
第14回	心理学分野などの話題提供（クイズ形式）	演習生の関心のあるテーマでの心理学関係の情報提供をクイズ形式などで行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	前期演習活動のまとめを行う。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回のテーマに関する内容について、事前に提示された資料などを予習する（2時間程度）。事後学習として、授業で問題提起された課題に積極的に取り組み、理解を深める（2時間程度）。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは翌週フィードバックし、解説とともに解答例を提示し、全体で共有する。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題についての的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 授業時の課題提出物の内容(40%)発表の内容 (30%)				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で適時紹介する。	
2		
3		
4		
5		